

令和4年 第10回 飯館村議会定例会

令和4年12月議会定例会は、12月19日から26日までの日程で開かれました。一般質問は21・22日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は26日に行われ、提出された議案は全て原案どおり可決されました。通常、12月議会の報告は、広報1月号に掲載しておりますが、会期日程延期に伴い2月号に掲載します。



今議会で可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和4年度一般会計補正予算

令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算

令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算

令和4年度介護保険特別会計補正予算

飯館村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

職員の分限に関する条例の一部を改正する条例

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

高病原性鳥インフルエンザ

令和4年12月7日に村内で発生が確認された高病原性鳥インフルエンザについては、福島県が主体となって防疫措置を行い、同月11日までに、発生農場における埋却、鶏舎消毒等の作業が終了しました。なお、動員人数は同月11日現在で、県職員・延べ646人、本村を含む相双管内市町村・団体職員・延べ239人の合計885人でした。

村では、引き続きまん延防止のための措置に努めるとともに、情報収集を行い、周知を図ってまいります。

帰還困難区域について

令和4年9月23日から、帰還困難区域、長泥地区の特定復興再生拠点区域において、準備宿泊が開始されています。

これは、令和5年春の避難指示解除を目標とする中で、住民の方々の宿泊のほか、自宅の本格的な修繕や清掃等にも活用でき、避難指示解除までの期間実施するものです。

11月20日には長泥地区住民説明会を実施し、現在の空間線量率やインフラ整備の状況について説明するとともに、特定復興再生拠点区域の「避難指示解除時期を令和5年のゴールデンウィークあたりとする」ことを、ご了承いただきました。

また、特定復興再生拠点区域外のうち、「線量低減化実証事業等の効果を確認する場（通称「公園用地」）についても、「拠点区域と同時期に避難指示解除することをご了承いただきました。

引き続き、長泥地区の方々の準備宿泊及び避難指示解除、そしてその先にある「夢のあるふるさと長泥」の創出に向かって、最大限の努力をもって住民福祉の向上に努めます。

移住ツアー「ミチシル旅」

8月、9月、11月の計3回にわたり、移住ツアー「ミチシル旅」を実施しました。感染防止対策

村民の帰還状況

令和4年12月1日現在の村への帰還者は638世帯、1232人で帰還率は約25.5%です。これに、震災後の転入者223人といたってホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は789世帯で1508人です。

避難を継続している方は、県外避難者が163人、県内避難者は、福島市に2089人、南相馬市に290人、伊達市に261人、川俣町に246人など、合わせて3166人です。

金婚のお祝いについて

令和4年度、結婚から50年となり金婚を迎えられたご夫妻は、12組でした。本来であれば、敬老会の席上でご紹介し記念品をお渡しするところでしたが、コロナ禍により敬老会をやむなく中止しました。お祝いの品を贈呈するため、直接ご自宅にお伺いし、夫婦円満の秘訣や今までの苦労話等、とても貴重なお話を伺いました。

新型コロナウイルス接種

初回（1回目・2回目）接種率は86.1%、3回目接種率は78.5%です。「いちばん館」での集団接種は、令和4年9月からオミクロン株対応ワクチンに切り替え、これまで計8日間の実施で接種人数は1159人となっています。避難先自治体での接種を合わせると、令和4年12月1日現在のオミクロン株対応ワクチンの接種人数は1598人です。

鳥獣被害対策

令和4年4月1日から11月21日までに、イノシシ64頭、サル58頭の駆除を実施しました。また、捕獲した鳥獣を減容化する施設建設は、村クリアセンター敷地内において建設工事が進んでおり、令和4年度内の完成を見込んでいます。

建設関係

村道機能回復工事は令和4年度計画している30路線、延長9.5kmについて、令和4年12月末の完了を見込んでいます。村道の除雪は、行政区委託に

よる除雪の体制を整え、今後、伊丹沢、上飯樋、関根・松塚、前田・二枚橋・須萱の5つの行政区と契約し、住民参加型の除雪を進めていきます。

農業基盤整備促進事業は村内15の行政区で27件の工事を発注し、令和4年11月末に3件の工事が完了しました。引き続き早期完了に努めます。

教育委員会関係

令和3年度は実施が見送られました。今年度は前期課程による稲刈り体験授業を行いました。平成30年度から児童たちが村内での米作りを続けてきた中で、自分たちが植え、稲刈りをしたお米を、学校給食で食べることでできています。

10月20日から7日間開催した総合文化展には、こども園と希望の里学園を含め、村内外から約600点の作品が展示されました。

パークゴルフ場は令和4年4月1日から11月30日まで210日間開場し、延べ4201人の利用がありました。

策を徹底しながら、24名の方々に「ふるさと飯館村」の魅力を体験していただきました。参加者からは「少数だったので村の魅力を詳しく体感することができた」などの意見があり、引き続き村の魅力発信に取り組んでいきます。

ふるさとの担い手交流会

12月4日には「ふるさとの担い手交流会」と題し、移住された方および日頃から交流のある住民の方との交流会を開催しました。

当日は約20名の方にご参加いただき、互いに情報共有をしていただくなど、新たな村の再発見につながるひとときとなりました。

村民の森あいの沢

オートキャンプ場のモニター利用開始から、10月末までに1617人の利用がありました。また、令和4年11月末からは、あいの沢「基本構想」の策定に着手しており、あいの沢を訪れる方々がより利用しやすい、喜ばれる施設となるよう努めます。